

1/70億人のあなたへ ～今世界に目を向けるということ～

下川 聖子（尾道市立向島中学校） 担当教科／英語

実践教科／英語・道徳・総合・学活

対象学年／中学校1年生・中学校3年生（英語発展クラス）

対象人数／150名

実践の目的

- ①ベトナムの人々の文化や生活から異文化を理解し、尊重する心を伝える。
- ②元青年海外協力隊の方からの話を聞き、バングラデシュで学ぶ子どもたちの現状を知るとともに、国際理解や国際貢献について考える。
- ③不平等な貿易や児童労働の現状を知ること、世界の様々な問題に関心を持つとともに国際的な協力の必要性について考える。
- ④視野を広げ、同じ地球に生きる70億人の中の一人として、自分にできることを考え、実践やアクションプランを考える。
- ⑤ベトナムの格差を通して豊かさと伝統について考える。
- ⑥ベトナムで活躍する日本人を通して、自己の生き方を考える。
- ⑦ベトナムで学ぶ子どもたちを通して学ぶことや働くことを考える。
- ⑧ベトナムのユニクロ工場をとおして世界のグローバル化の現状を伝える。

授業の構成

時 限	テーマ・ねらい	方 法 ・ 内 容	使 用 教 材
1	【事前学習・道徳】1年生 「教科書の中のベトナム」 ベトナムの国のイメージを共有する。また、教科書や資料に載っているベトナムの情報をまとめ、ベトナムへの興味や関心を持つ (道徳：中学校1年生)	(1)ベトナムのイメージを班で出し合う (2)教科書に載っているベトナムの情報を整理する (3)ベトナムの子どもたちや人々への質問を考える	(1)ベトナムの観光ガイドに載っている写真 (2)模造紙(KJ法)
2	【事前学習・英語】 「Fair Trade Chocolate」 教科書の本文を読み、フェアトレードについて正しく理解することができる	(1)カカオの生産方法や貿易の仕組みについて説明する (2)フェアトレードやその製品を紹介する (3)JICAや国際協力、そして教師海外研修(ベトナム)について簡単に話す	(1)写真 (2)JICAパンフレット・資料 フェアトレード製品
3	【学活】1年生 「私が見たベトナム」	(1)ベトナムで見て驚いたことBest 5 (2)ベトナムクイズ	(1)写真
4	【英語】-Team Teaching- 3年生 「バヌアツの人々の生活や国際協力の活動について知ろう」 ALTの先生からバヌアツの生活や現状について知るとともに国際貢献について知る	(1)バヌアツの人々の生活を知る (2)バヌアツの学校や子どもたちの現状を知る (3)活動内容について理解する 	(1)～(3) パワーポイント・動画 *授業の90%は英語で説明

5	【JICA出前講座】1年生 「バングラデシュの子どもたち～国際協力って何だろう～」 元青年海外協力隊の方の話を聞き、バングラデシュで学ぶ子どもたちの現状を知るとともに、国際理解や国際貢献について正しく理解することができる	(1)バングラデシュの人々の生活を知る (2)バヌアツの学校や子どもたちの現状を知る (3)JICAや青年海外協力隊活動内容について理解する 	(1)～(3) パワーポイント
6	【道徳】1年生 「If the world were a village of 119 people～世界がもし119人の村だったら～」 世界の人口を概観する。また、文字の読めない人がいることを知り、その不便さを体感する	(1)世界クイズ（未来の人口・言語など） (2)世界の言葉で「こんにちは」 (3)大陸に分かれてみよう (4)字が読めないということ (5)「100人村」のメッセージを全体で読む	(1)パワーポイント (2)～(5) 「ワークショップ版世界がもし100人の村だったら」 (3)「世界がもし100人の村だったら」
7	【英語】1年生 「貿易ゲーム」 構造的な貿易の不公平を実体験することにより、不公平な状況にいる人たちの気持ちを理解することができる	(1)100人村を振り返って (2)貿易ゲーム (3)世界の富は誰がもっているの 	(1)写真 (2)「教室から地球へ開発教育・国際理解教育虎の巻」 (3)富の世界地図
8	【英語】1年生 1 / 70億人のあなたへ～今世界に目を向けるということ～ 児童労働の現状について知るとともに世界の貧困と自分の生活がつながっていることに気づくことができる	(1)100人村・貿易ゲームを振り返って (2)世界クイズ (3)貧困の輪 (4)児童労働について (5)スライド「1 / 70億人のあなたへ～今世界に目を向けるということ～」	(1)(2)パワーポイント (3)派生図・ブレーンストーミング (4)写真など (5)パワーポイント
9 予定	【総合 国際交流】1年生 「豊かさとは何か」 世界各国の写真から豊かさとは何か考えるとともに、豊かさと引き換えに失うものについて考えることができる	(1)選んだ写真の国名を考える (2)住みたい順番に並べる (3)住みたい理由を発表する (4)伝統とグローバル化について考える	(1)～(3)「地球家族」 (4)ベトナムの写真

10・11 予定	【総合 キャリア教育】 1年生 「世界で活躍する日本人～ベトナムの経済発展から考える～」 ベトナムで活躍する日本人を通して、自己の生き方を考えるとともに子どもたちの姿から学ぶことや働くことを考える	(1)「人はなぜ働くのか」 (2)「ベトナムで会った働く人達」 (3)「ユニクロベトナム工場日本人社員に聞く！」 (4)世界の子ども達の勤労観 (5)手紙 ○年後の私へ	(2)～(4)写真
-------------	---	--	-----------

2 限目

「Unit 3 Fair Trade Chocolate」

ねらい：Fair Trade Chocolateを読んで、英文を理解するとともに要点を読み取ることができる。

NEW HORIZON ENGLISH Course3にある「Unit3 Fair Trade Chocolate」についての学習をした。フェアトレードのシステムについて、JICAパンフレットも参考にしながら説明した。本文の内容を理解するのではなく、その背景もおさえた。単元の終わりには、学校に行けるようになったTimに英語で手紙を書いた。

Unit 3

Fair Trade Chocolate

Dialog

Father: We've just received these chocolates.

Tim: What else have we received?

Father: Coffee, orange juice, nuts We've already received more than 20 fair trade products.

Tim: That's a lot. Have you checked all the boxes yet?

Father: No, not yet.

Tim: I'll help you.

Reading for Communication

調べたことを説明しよう

Ghana produces a lot of cacao beans. They're made into chocolate. Many people work on cacao farms in Ghana. But the beans are sold at a low price. They work hard, but they can't earn enough money to live.

Many children in Ghana work on farms to help their families. Some of them have never been to school.

Fair trade can solve these problems. If you buy fair trade chocolate, more money goes to the farm workers. Your choice will help them.

感想を手紙に書こう

August 15

Dear Tim,

Thanks to fair trade, our cacao beans can be sold at a higher price. My little brother and I don't have to work as much as before. We can go to school now.

I saw you on TV. I was surprised to hear that chocolate is made from cacao beans. I have never eaten chocolate myself.

You say, "To eat, drink, and learn is the right of every child." I'm glad to hear that. Thank you.

Best wishes,

Rita

所 感

今回の実践は、使用教科書の内容を拡げることで国際理解教育を進めることを目的にした。本校では文部科学省の指定を受け、英語の授業の70%を英語で行うことを目指している。単元の最後時間には、ALT（外国人講師）とのTT（Team Teaching）の授業であった。既習の本文の内容やフェアトレードについても一度英語で復習する場面を設けた。ALTがボランティア活動をしている教員だったので、フェアトレードやその製品の良さについても一度クラスで考えることができた。

6 限目

「If the world were a village of 119 people ～世界がもし119人の村だったら～」

ねらい：世界の国々の位置関係や大陸の大きさと世界の人口を概観する。また、文字の読めない人が多くいることを知り、その不便さを体感する。

中学校一年生全員とALT（外国人講師）の119人で「If the world were a village of 119 people ～世界がもし119人の村だったら～」を行った。

「世界が100人の村だったら」を119人を対象に、英語で実施したものである。

7 限目

「貿易ゲーム」

ねらい：構造的な貿易の不公平を実体験することにより、不公平な状況にいる人たちの気持ちを理解する。

下の図のようなA、B、Cの9つのグループに分かれ、貿易ゲームを行った。制限時間内に製品を作り、銀行に売ってお金を儲けるというゲームである。

グループ	資金	資源	生産物	買い取り価格
Aグループ（先進国）	5000円	全て保有	車	1台 10000円
B－1グループ（新興国）	2000円	1つ足りない	シャツ	1着 2000円
B－2グループ（新興国）	3000円	1つ足りない	シャツ	1着 2000円
C－1グループ（開発途上国）	500円	1つ足りない	エビ	5匹 1000円
C－2グループ（開発途上国）	500円	2つ足りない	鉄・バナナ	鉄5個 1000円 バナナ5房 1000円
C－3グループ（開発途上国）	1000円	2つ足りない	銅・エビ	鉄5個 1000円 バナナ5房 1000円
C－4グループ（開発途上国）	500円	1つ足りない	バナナ	バナナ5房 1000円

(7 限目)

[illegible]

生徒の反応

- ・何か作ろうと思っても最初からこんなに差があったらなかなか難しいと思った。
- ・Aの国（先進国）では1つ作れば高く売れるのに、Cの国（途上国）では5つ作っても安くしか売れないことに不満を持ちました。世界でもこんなことが起きていることに驚いた。
- ・今日は紙だったからそこまでもめなかったけど、これがずっと続くと思ったら大変だ。
- ・貿易でも差別があり、貧困の差も大きいことが分かった。
- ・国が違っただけでこんなにも差があることを知り、貧しい国を助けて平等になって欲しい。

所感

貿易ゲームを実施するには、やはり2時間は必要だと感じた。テンポよく活動を進めることはできたが、お金を儲けることを楽しんで、楽しかったという感想だけの生徒もいた。もうすこし時間をとって、振り返りの時間をしっかりと取る必要があることを感じた。

8 限目

「1/70億人のあなたへ～今世界に目を向けるということ～」

ねらい：児童労働の現状について知るとともに世界の貧困と自分の生活がつながっていることに気づくことができる。

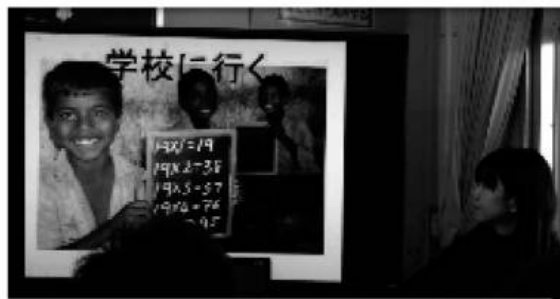
100人村の感想から恵まれていることに感謝する気持ちと同時に「日本に生まれてよかった」という気持ちがあることを知った。また、先進国に住む生徒たちにとって途上国の現状は少し遠い

もののように感じているのではないかと考えた。

今回の授業では、途上国の貧困と先進国の暮らしが密接に結びついていることをテーマにあげた。大好きなチョコレートとサッカーボールが、一部の国では児童労働によって作られている事実もあることを伝えることから国際理解を進めるきっかけにしたい。そして、グローバル化が進む中で世界の様々な問題について一国だけで解決できる問題はなく世界に目を向けて協力する姿勢を養いたい。

学 習 活 動	支 援 ・ 方 法	使用教材
【導入】 (1)100人村・貿易ゲームを振り返って (2)世界クイズ	・100人村や貿易ゲームの活動で終末に書いた生徒の感想をとりあげ、前時とのつながりを意識させる ・世界の貧困を表す数字をクイズ形式で取り上げる (1日1ドル以下の生活者数・学校に行けない児童数・5歳までに亡くなる数) 	・パワーポイント (4)写真など (5)パワーポイント
【展開】 (3)貧困の輪	・貧困が原因でどんなことが起きるか、班で派生図を使って考えさせる(言語活動)	・貧困シート(派生図・ブレインストーミング)
(6)児童労働について	・班で出た意見を全体で確認し、抜け出せない貧困の輪を視覚的にとらえさせる  ・児童労働の現状について書かれた資料を読む ・身近なチョコレートやサッカーボールも子ども達の手によって作られていることもあるということを知り、貧困と私達の生活のつながりを感じさせる。	・向島中1アンケート「夢」

- ・前時にとったアンケートの回答と発展途上国で暮らす子ども達の回答を比較させる



- ・「30年後はどんな世界にしたいか」についても考え、次時のアクションプラン活動につなげる

【展開2】

(7)スライド「1／70億人のあなたへ～今世界に目を向けるということ～」

【終末】

本時の気づきや考えたことをワークシートに書く

安定した仕事
につきたい

・ユニセフ「世界の
子どもたちの夢」

全世界が
平和になること

ー ネパールの子ども

生徒の反応

- ・今も同世代の子ども達が働いていることに心が痛んだ。
- ・なぜそんなに一生懸命働いているのにこんなひどいことになっているのかと思った。
- ・ものの大切さや重みがわかり、使い終わってもすぐに捨てるのではなく長く使って、世界みんなのことを考えていきたい。子どもたちを学校に行かせてあげたい。
- ・東日本大震災では違う国の援助があったことを知り、もし他の国で何かあったら助けていきたい。
- ・僕は世界（北朝鮮なども含めて）を助け合いのある世界にしていきたい。
- ・全世界のみんなで分け合い協力し合える世界にしたい。その日がくるまで僕は世界の人々を笑顔にし、楽しませる職業につきたい。

所感

中学校一年生の3クラスで実施した。どのクラスでも私が伝えたかったメッセージは伝わったと思う。今回は、英語の時間を使っての授業だった。世界共通語である英語を学び、世界で苦しんでいる人の想いを直接聞ける人になって欲しいと思う。英語を学ぶ目的の1つは、世界に目を向けるとともに世界の問題を解決するためであると思う。

10・11 限目
【総合キャリア教育】1年生

「世界で活躍する日本人 ～ベトナムの発展から考える～」

3学期の総合的な学習の時間で進路学習を予定している。学校の教育課程の中で、ベトナム研修で感じたことをキャリア教育として生徒に伝えたい。ベトナムで出会った海外で活躍する日本人の姿を通して、働くことや自己の生き方について考えて欲しい。また、世界展開をするベトナムの製品製造過程からグローバル化の現状を伝える。ベトナム工場で聞いた話を基にグローバル化の中で必要とされる人材についても考えさせたい。そして、世界の子どもたちの学習意欲や勤労観を知り、学ぶことの重要性についても気づかせたい。終末には、〇年後の自分へ手紙を書き、今の進路についても悩みや不安そして決意を書かせたい。

学 習 活 動	支 援 ・ 方 法
【導入】 1 向島中学校アンケート結果「夢」より 【展開1－10時間目】 2 「人はなぜ働くのか」 3 「ベトナムで会った働く人達」 【展開2－11時間目】 4 「ユニクロベトナム工場日本人社員に聞く！」 5 世界の子ども達の勤労観 【終末】 6 手紙 ○年後の私へ	・ 前時とのつながりを意識させる ・ 「人はなぜ働くのか」ワークシートに書く（個人思考） ・ 書いたワークシートを基に班で意見を出し合う（集団思考） ・ ベトナムであった世界で働く日本人について紹介する（大成建設・青年海外協力隊隊員など） 大成建設 国際協力の現場から ・ ユニクロについてのゲームをして簡単にユニクロの会社の規模や生産工程などをおさえる ・ ベトナム工場で聞いたことを基に話をする ・ アメリカ・ベトナム・中国・日本の子ども達の学習や勤労観について比較させる（外国語学習データやベトナムで会った学生の写真など） 外国語学習の現場から 日本が大好きな学生 農村部の公立学校 都市部の私立学校 ・ ○年後の自分に向けて、「働くことや学ぶこと」について今考えていることを手紙にする

全体を通しての成果と課題

学校の教育課程の中で、そして生徒たちの発達状況を考慮して、つながりのある授業を意識した。本来なら、ベトナムで感じたことを全時に盛り込むべきかもしれない。

生徒の感想から、国際理解教育を進める上で、ベトナムの学習に入る前に学習しなければならないことがたくさんあることに気がついた。国際理解や国際協力をテーマにした授業を行うことはとても楽しいものだというのを今回の実践を通して学んだ。実践を行う前は、伝えたいことを1つに絞ることや授業の構成に苦勞した。しかし、伝えたことがはっきりある授業では、生徒の反応も予想を超えたものが返ってきた。生徒の心が揺さぶられ、考える顔がたくさんあった。

一方、国際理解教育を生徒たちの身近な生活に活かすことが今後の課題である。今回の実践を通して、「何とかしたい」「ボランティアをしたい」という声がたくさんあがった。学校として実際にアクションプランを考え、実践していくところまで持っていくことができなかった。学校の教育課程や行事などに関連させて、そういった取り組みも視野に入れて、今後も国際理解教育に力を入れていきたいと思う。

授業を受けた生徒たちが、異文化を理解し、日本や日本の文化を誇りに思う人材に成長して欲しいと願っている。また、世界に目を向け、将来世界で活躍することや、国際協力の現場に立つ人材を育成していきたい。教育現場から世界の発展に貢献していきたいと考える。

参考資料

【書籍】

「教室から地球へ開発教育・国際理解教育虎の巻」独立行政法人 国際開発機構中部国際センター

「ワークショップ版世界がもし100人の村だったら」DEAR開発教育協会

「地球家族～世界30か国のふつうの暮らし」TOTO出版

「どうなってるの？ 世界と日本～わたしたちの日常から途上国とのつながりを考えよう～」JICA

「日本と世界のつながりを知る 日本・途上国相互依存度調査 DATA BOOK2010」JICA

「物語 ベトナムの歴史～1億人国家のダイナミズム～」小倉貞男 著 中公新書

【インターネット】

「世界の子どもたちの夢」<http://homepage1.nifty.com/RED-SILIA/sekainoko1.htm>

「JICA」<http://www.jica.go.jp/>

「児童労働について」<http://acejapan.org/>

英語科学習指導案

指導者 下川 聖子

- 1 日 時 平成24年7月10日（火）6校時（14：20～15：10）
 2 学 年 3年2組（男子10名 女子7名 計17名）
 3 場 所 はつらつC教室
 4 単元名 Unit3 Fair Trade Chocolate
 5 本時の学習の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準	評価方法
導 入	1 あいさつ	○アイコンタクトと大きな声であいさつをする。	・時制や代名詞に注意して、英文で答えることができるか。 ・活動に協力し、意欲的に取り組むことができるか。	行動観察 自己評価 相互評価
	2 Q & A	○既存の学習内容について、単語ではなく、英文で答えさせる。		
	3 新出単語	○ペアで協力して、新出単語の意味を復習させる。		
	学習の目標 Fair Trade Chocolateを読んで、英文を理解するとともに要点を読み取ることができる。			
展 開	4 読解	○できるだけ英問英答を目指し、本文の内容を読み取らせる。	・時制や代名詞に注意して、英文で答えることができるか。	行動観察
	5 音読	○アクセントや音のつながりに注意して読ませる。	・アクセントや音のつながりに気をつけて、英語らしく発音することができるか。	自己評価 相互評価
	6 ディクテーション	○スローラーナーズは、単語の綴りを確認しながら、書きとらせる。		後日ワークシートの回収
ま と め	本時の活動について教師がコメントする。 次時の内容の提示	本時の聞く態度、話す態度、活動への参加についての気づきや良かった点を取りあげ、次回以降の授業への意欲につなげる。		

1 / 70億人のあなたへ



(1) 今日の授業で考えたことや気づきなどを書いて下さい。

(2) あなたの「大切なもの」は何ですか。

(3) あなたの「夢」はなんですか。